

# 年間授業計画

令和4年度 教科[ 国語 ] 科目[ 現代文A ]

№

クラス又は班	3年選択					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	新編 現代文A(第一学習社)

教科・科目のねらい(目標)	2学年で、学習した国語力をもとにして、より発展した内容を学習する。文学作品を数多く読み、教養をみにつけるとともに文学の面白さを知り、人間や人生について考察する力をみにつける。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	小説とは	小説がフィクションであることを理解する。	30	
	5	調律師のるみ子さん	小説を読み取る。		
	6	調律師のるみ子さん 相棒	小説を読み取る。		
	7	相棒	小説を読み取る。		
2 学 期	9	山月記	小説を読み取る。	30	
	10	山月記	小説を読み取る。		
	11	こころ	小説を読み取る。		
	12	こころ	小説を読み取る。		
3 学 期	1	支え合うことの意味	評論を読み取る。	10	
	2				
	3				
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	テストの点数 学習の態度 提出物の内容  上記を参考にして、関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解の観点 を考慮し総合的に判断する。
----------	--

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[ 数学 ] 科目[数学Ⅱ ]

クラス又は班	3年1組	3年2組	3年3組	3年4組	3年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						4	新数学Ⅱ(実教出版)

教科・科目のねらい(目標)	数学Ⅰで培った、高校数学の基礎知識を基に高次方程式や因数定理が解ける。 円や直線の方程式を理解し、不等式の表す領域を図示できるようにする。 三角関数や指数・対数関数を理解し、微分積分の意味やいろいろな面積が出せる。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学期	4	整式の乗法 因数分解 二項定理	乗法公式 因数分解の公式 パスカルの三角形	16
	5	分数式 複素数 2次方程式	分数式の乗法・除法 負の数の平方根、複素数の和・差・積・商 2次方程式の解、解の判別	16
	6	解と係数の関係 整式の除法 因数定理	解と係数の関係 整式の除法 剰余の定理、因数定理	16
	7	図形と方程式	内分・外分、円の方程式、領域	14
2 学期	9	微分係数と導関数	平均変化率、極限值、微分係数、	16
	10	導関数の応用	導関数、 $x^n$ の導関数、接線の傾き、関数の増加・減少、極大・極小関数の最大値・最小値	16
	11	積分の考え 面積	不定積分、定積分 面積	16
	12	三角関数 加法定理	一般角、三角関数、 $y=\sin\theta$ 、 $y=\cos\theta$ 、 $y=\tan\theta$ 加法定理、三角関数の合成、弧度法	14
3 学期	1	指数関数 対数関数	累乗根、指数法則 対数、対数の性質、対数の計算、常用対数	16
	2			
	3			

年間予定授業時間数	140
-----------	-----

評価の観点・方法	日常の授業に取り組む姿勢や、プリントやノートの提出物の状況を十分に把握し評価に反映させていく。(平常点) 授業の出席状況なども評価に反映させていく。(平常点) 習熟度別に分けて指導していくが、到達度や習熟の状況を判断するため、共通の試験を行い、その状況を評価に反映させていく。(習得点) 平常点と習得点とで総合的に評価する。
----------	---

備考	
----	--

## 年間授業計画

令和4年度 教科[理科] 科目[化学基礎]

No.

クラス又は班	3学年 必修選択	単位数	使用教科書・教材
担当者		2	教科書「7実教 化基317」

教科・科目のねらい(目標)	1,2年生で学んだ内容の復習を行いつつ、化学の基礎的事項の理解修得に努める。さらに、一方的な講義ではなく生徒に答えさせるように問いかけを行うことで、主体的な学びにつなげる。実験を実施することで、科学的な洞察力の育成に努める。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	1章 物質の構成	・純物質と混合物 ・混合物の分離 ・単体と元素	4
	5		・物質の三態と状態変化 ・粒子の熱運動 ・原子	6
	6	2章 物質と化学結合	・電子配置と周期表 ・イオン ・イオン結合とイオン結晶	10
	7		・共有結合と分子 ・金属結晶	4
2 学 期	9	3章 物質の変化	・酸と塩基 ・酸、塩基の価数と強弱	6
	10		・水素イオン濃度とpH ・中和反応	8
	11		・中和反応と塩 ・酸化と還元	8
	12		・酸化剤・還元剤 ・酸化剤と還元剤の反応	4
3 学 期	1	3章 物質の変化	・金属のイオン化傾向 ・電池	4
	2			
	3			
年間予定授業時間数				54

評価の観点・方法	毎時間の授業取り組み(関心・意欲・態度)、実験プリント(観察・実験の技能・表現)、問題正解率(思考・判断)の評価を点数化し、授業中の課題等の取り組み内容、確認テスト(知識・理解)や小テスト(知識・理解)の結果や出席状況、授業中の態度などを考慮しながら、総合的に判断する。エンカレッジスクールとして、特に出欠・授業に取り組む態度、姿勢を重視する。
----------	--

備考	
----	--

# 年間授業計画

## 令和4年度 教科[ 家庭 ] 科目[ 家庭基礎 ]

№

クラス又は班	3年選択					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	新図説家庭基礎(実教出版)

教科・科目のねらい(目標)	2学年で、学習した「家庭基礎」をもとにして、より発展した内容を学習する。体験学習を通して、ものづくりに対する技術を身につける。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	ガイダンス	授業内容の確認	30	
	5	衣生活をつくる	糸と織物について。世界の衣服と衣服の変遷。		
	6	衣生活をつくる	被服製作①衣服		
	7	衣生活をつくる	被服製作②小物		
2 学 期	9	食生活をつくる	調理の基礎・調理実習(和食・菓子)	30	
	10	食生活をつくる	調理の基礎・調理実習(洋食・菓子)		
	11	食生活をつくる	調理の基礎・調理実習(中華・菓子)		
	12	子どもとかかわる	子どもの遊び体験		
3 学 期	1	住生活をつくる	1人暮らしの住まいの設計とバーチャルレイアウト	10	
	2				
	3				
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	<p>授業・実習態度 提出物の内容(プリント、作品等) 学期末確認テスト 上記を参考にして、関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解の観点 を考慮し総合的に判断する。</p>
----------	---

備考	全ての実習について、新型コロナウイルス感染予防に注意しながら行う。
----	-----------------------------------

# 年間授業計画

令和4年度 教科[工業] 科目[選択B 機械工作]

No.

クラス又は班	3年					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	新機械工作【工業317】

教科・科目のねらい(目標)	機械材料の性質を理解し、機械工作法を学ぶ						
---------------	----------------------	--	--	--	--	--	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学期	4	機械材料の性質	機械材料のあらまし	30
			機械材料に望まれる性質	
			おもな機械材料	
	5	機械材料の性質	材料の機械的性質	
			金属材料の結晶と状態変化	
	6	炭素鋼	炭素鋼の性質と分類	
			純鉄の変体と結晶構造	
炭素鋼の種類と用途・加工性				
7	合金鋼	合金鋼の種類と種類		
	鋳鉄	鋳鉄の組織と性質		
2 学期	9	非鉄金属材料	アルミニウムの性質と加工性	30
			マグネシウムの性質と加工性	
			チタンその他金属の性質と加工性	
	10	非金属材料	プラスチックの性質と加工性	
			セラミックスの性質と加工性	
	11	機能性材料 切削加工1	焼結合金 形状記憶合金 磁性材料等	
			切削速度の選定	
			送り量の選定	
			切り込み	
			切りくずの形態	
12	切削加工2	切削による熱 構成刃先とびびり		
3 学期	1	工作機械	旋盤	10
			フライス盤	
	2	生産計画と管理	製品管理と品質管理	
			工程管理と作業研究	
3				

年間予定授業時間数	70
-----------	----

評価の観点・方法	授業態度・学期末確認テスト・出席・提出物等を総合して、判定する。
----------	----------------------------------

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[工業] 科目[自動車整備]

No

クラス	3年選択					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	実教出版 自動車整備

教科・科目のねらい(目標)	自動車の機能をじゅうぶんに働かせるとともに、車の安全性を確保するための自動車整備を理解するために、関係法規や自動車の材料や構造を学ぶ。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	自動車の整備と関係法規	整備の目的 整備の内容	30	
	5	自動車の整備と関係法規	自動車整備事業 道路運送車両法		
	6	自動車の材料と加工法 車体の整備	材料の特性および加工法 サスペンションの整備		
	7	車体の整備	マフラーの整備		
2 学 期	9	エンジンの整備	エンジンオイル交換 プラグ交換	30	
	10	舵取り装置	ステアリング装置の点検整備方法 懸架装置の点検整備方法		
	11	ブレーキ装置	ディスクブレーキの整備点検方法 ドラムブレーキの整備点検方法 倍力装置の構造		
	12	電気装置	オルタネータの点検整備方法 スタータの点検整備方法 灯火装置の点検		
3 学 期	1	動力伝達装置	マニュアルトランスミッションの構造について オートマチックトランスミッションの構造について	10	
	2	排気ガスと環境	自動車と環境問題 各点検・整備項目		
	3	まとめ	自動車整備のまとめ		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	出席・授業態度・小テスト・試験を総合して、判定する。
----------	----------------------------

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[工業] 科目[選択 電気工事]

No.

クラス又は班	3年						単位数	使用教科書・教材
担当者							2	

教科・科目のねらい(目標)	電気理論、配電理論、配線設計、電気機器、配線材料、電気工事用工具の基本を学びながら、実践的な電気工事の施工法・検査法の技術を習得する。また、電気に関する法令を理解する。さらには、屋内配線の配線図を理解し、第二種電気工事士の合格を目指す。
---------------	--

学期(月)	指導項目	指導内容	予定時数					
1 学 期	4 第二種電気工事士試験の概要 実技試験対策	試験制度の説明 工具の使用方法	30					
	5 実技試験対策	単線図から複線図への変換 工具の使用方法 ケーブルの切り出し						
	6 実技試験対策	第2種電気工事士 公表問題への取り組み						
	7 実技試験対策 確認テスト対策	第2種電気工事士 公表問題への取り組み 復習						
2 学 期	9 実技試験対策	第2種電気工事士 公表問題への取り組み	30					
	10 実技試験対策	第2種電気工事士 公表問題への取り組み						
	11 実技試験対策	第2種電気工事士 公表問題への取り組み						
	12 実技試験対策 確認テスト対策	第1種電気工事士 公表問題への取り組み 復習						
3 学 期	1 実技試験対策 学年末確認テスト対策	第1種電気工事士 公表問題への取り組み 復習	10					
	2							
	3							
							年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み、実習服への着替え)を重視する。</li> <li>2. 提出物(課題・ノート提出の提出状況及び内容)</li> <li>3. 第二種電気工事士の受験、合格も評価の対象とする。</li> </ol>
----------	---

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[工業(キャリア技術)] 科目[生産システム技術]

No.

クラス又は班	必修選択					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	生産システム技術(実教出版)

教科・科目のねらい(目標)	基本的な電気や電子に関わる知識、機械技術に関する基本的事項を習得する 生産における安全、環境、省エネルギーに関する知識を習得する
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学期	4	生産システム技術を学ぶにあたって 直流回路 "	電気回路について オームの法則について	30
	5	" " "	抵抗の性質について 電流の電熱作用と電力について 電流の化学作用と電池について	
	6	磁気と静電気 " "	電流と磁気について 磁気作用の応用について 静電気について	
	7	交流回路 "	交流の基本的取扱いについて 交流回路について	
2 学期	9	交流回路 " "	交流電力について 三相交流について 回転磁界と三相誘導電動機について	30
	10	電子回路 " "	半導体について ダイオードについて トランジスタについて	
	11	" " 計測技術と制御技術	電源回路について 集積回路について 計測の基礎と制御機器について	
	12	" "	制御の基礎について コンピュータ制御について	
3 学期	1	生産設備 "	電気設備について 機械設備について	10
	2	生産管理 "	生産管理のあらましについて 生産管理について	
	3			

年間予定授業時間数	70
-----------	----

評価の観点・方法	各授業ごとのプリント等の取組状況、出来具合 ノートの板書状況及び提出 テストごとの内容・取組状況 出欠席状況及び日々の取組状況 各学期末におこなう確認テストの状況の出来 以上を総合的に判断して評価する。
----------	--

備考	
----	--



# 年間授業計画

令和4年度 教科[工業] 科目[デザイン表現]

No. 1/1

クラス又は班	3年必選					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	デザイン表現

教科・科目のねらい(目標)	卒業後の進路に役立つデザインに関する専門知識を学ぶ。 新しい表現方法を身に付けると同時に、今まで学んだ技術も更に磨く。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	デザインの基礎知識	・デザインの基本事項について学ぶ (律動・リズム、均衡・バランス、調和・ハーモニー)	30	
	5	デザインの基礎知識	・造形美の原理について学ぶ (外観、機能、品質、安全性、生産性)		
	6	製作①	・ラフスケッチ・概略図・モデル制作によって形状について考え、デザインの方針を固める。		
	7	製作①	・実際に製作する。		
2 学 期	9	製作②	・実際に製作する。	30	
	10	製作②	・実際に製作する。		
	11	製作③	・実際に製作する。		
	12	製作③	・実際に製作する。		
3 学 期	1	プレゼンテーション	・製作した作品をまとめる。	10	
	2	プレゼンテーション	・作品の整理と講評		
	3				
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	① 授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度) ② 取り組み(技能・到達度・創意工夫など) ③ 提出物(作品)
----------	---

備考	
----	--